

式辞

早田川の桜は、皆さんの入学を待ち詫びで花びらは既に舞いたち、枝には鮮やかな新緑が輝いています。

この佳き日に、本校PTA会長 小森 崇稔（たかとし）様をはじめ、ご来賓の皆様方、そして保護者の皆様方のご臨席を賜り、令和五年 岐阜県立岐阜北高等学校入学式を挙げていただきましたことを、高いところからではございますが、心より御礼申し上げます。

ただ今、入学を許可いたしました三百六十名の皆さん、ご入学おめでとうございます。

職員及び在校生一同、皆様のご入学を心より歓迎します。

皆さんは、自身が選び挑戦した岐阜北高校の一員として、今ここに北高の制服を着て、校章を身に付け、参加していることを改めて誇りに思ってください。努力をしてきた自分自身に対して感謝をするとともに、皆さんを導いてくださった中学校の先生、一緒に勉強した仲間たち、そして何よりも、皆さんの日々の生活を陰に陽に支えてくださったご家族の方々への感謝の気持ちを忘れないでください。

岐阜北高校の使命、ミッションは、「高い志とグローバルな視野を持った人材の育成を通して、生徒の自己実現と地域社会の持続可能な発展に貢献する」ことだと考えています。高い志とグローバルな視野を持つことは、皆さん進路実現に繋がり、同時にそういう生徒を育てることが将来の社会の発展にも繋がると考えています。

高校の価値は、校舎でも教員でもなく、ましてやテストの点数や偏差値でなく、そこで学ぶ生徒が、どのような志を持ち、どのような視野を持って行動し、成長し、社会で活躍するかだと思っています。これまでの岐阜北高校への評価は先輩方によって築かれてきましたが、明日からの岐阜北高校の評価は、皆さんによって新たに築かれます。そのような気持ちで、北高での高校生活のスタートを切ってください。

本校は令和二年度から「スクール・ポリシー」として、「荒野をひらく探究人（ひと）」という言葉掲げています。将来の予測が困難な社会を「荒野」という言葉で表現し、その荒野を自らの力で切り拓く姿を期待するものです。

そして、「ひらく」という言葉の中には、「自分自身を啓く（啓発する）」という意味、そして、「自ら主体的に拓いていく」という意味、そして「仲間と共に拓く」という三つの意味が込められています。この三つは、北高での生活の中で、是非、身に着けて欲しい力ですので、説明させていただきます。

一つめの、「自分を啓く」とは、「自己の哲学の礎を築き、粘り強く物事に取り組める」力です。自分は何のために生きるのか、どのように生きるのか、自身の生き方、在り方を考え、その上で自分の未来のために努力することができる力です。この力が皆さんを成長させる原動力となります。

二つめの「自ら拓く」とは、「『知』に貪欲になり、主体的・創造的に探究できる」力です。学べば学ぶほど、皆さんの視野が広がり、新たな疑問や課題の発見と、その解決策が見えてきます。その探究の過程が本当の学びであり、その学びが皆さんの将来の進路を切り拓いてくれます。

三つめの「共に拓く」とは、「多様な他者と協働し、課題解決できる」力です。人は一人ででき

ることには限界があります。何かを為し遂げるためには、多様な価値観を持つ人たちと、お互いを理解し、協力し合う必要があります。実は、これが最も難しく、そして最も重要な力です。世界や人類の平和、そして皆さんや家族の豊かな未来のために、重要な力だと考えています。

この三年間、我々は新型コロナウイルスの影響で、恐怖と共に様々な活動の制約を受けてきました。しかし、人類は長い歴史の中で、何回となく感染爆発（パンデミック）を経験してきました。この三十年間に限っても、約三十種類の新種のウイルスが出現しました。新型コロナウイルスの出現後一年で世界に供給された世界初のm-RNA ワクチンは、実は三十年以上前から研究が進められており、武漢で最初の患者が確認された直後にウイルスの遺伝子が解析され、ワクチン開発が始まっていました。

今回のパンデミックにおける様々なデータの蓄積や、世界レベルでの協力体制の確立の経験は、将来のもっと恐ろしい未知のウイルスへの備えになります。

予測されている地震などの大規模災害、地球温暖化、ロシアによるウクライナ侵攻や北朝鮮の動き、台湾有事、少子高齢化や経済の後退など、世界の平和と繁栄を脅かす様々な課題一つ一つを、我々は「高い志」と「英知」をもって解決しながら前進する必要があります。

未来を生きる皆さんには、高校三年間の学びを通して、単なる知識ではなく、本校の校歌の言葉を借りれば、「尊き理想」を掲げ、「弛まぬ力」と「強き精神（こころ）」を持って、仲間と協働しながら「英知」によって、未知の課題を解決し、未来を切り拓いていく、本当の意味での「学力」を身に付けて欲しいと願っています。

岐阜県の宝であり、未来の日本や世界を担う皆さんを預かる我々も、気持ちを引き締め、皆さんとともに学び、全力で支えたいと思います。初めての学びや未知の体験に対しても、決して恐れることなく、積極的に挑戦し、時には大きな失敗もしてください。その経験が、皆さんをさらに成長させてくれます。

そして、厳しい学業も楽しみに変え、高校生活を豊かに彩ってくれるのが、今ここに一緒にいる仲間です。皆さんが、お互いの人格や個性を尊重し、欠点や弱さも受け入れながら助け合い、励まし合い、高め合うことができれば、高校生活の意義は数倍になり、つらさや悲しみも消えてなくなります。

保護者の皆様におかれましても、お子様が晴れの入学式を迎えられ、感慨もひとしお、大きな期待もあると思いますが、まだ成長の途上にあり、苦しんだり悩んだりすることが必ずあると思います。テストの点数や順位に一喜一憂しないで、お子さんの人間的な成長を信じて、お子さんの挑戦を大きな心で温かく見守っていただくと幸いです。

本校も、職員一同、精一杯努力してまいります。困ったことがあれば何なりとご相談ください。学校、生徒、保護者が同じ方向を向いて、子どもたちの成長を支えたいと思います。新入生の皆さんの高校生活が実り多きものになることを願い、令和五年度入学式の式辞とさせていただきます。

令和五年四月十日

岐阜県立岐阜北高等学校校長 鈴木 健